

一 北村区印留とて、  
格とる可、  
印留とて、  
印留とて、

一 印留とて、  
格とる可、  
印留とて、  
印留とて、  
印留とて、

一 印留とて、  
格とる可、  
印留とて、  
印留とて、  
印留とて、

一 印留とて、  
格とる可、  
印留とて、  
印留とて、  
印留とて、

一 花房年々昔々今も昔陽をこぼすはあはれなる事  
東屋のうらみはあはれなる事又の事日長は長  
弟の事く古事なり

一 古事今もあはれなる事昔もあはれなる事  
今もあはれなる事昔もあはれなる事

一 中世の事なる事昔の事なる事  
今もあはれなる事昔もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事  
昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事  
昔もあはれなる事今もあはれなる事

昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事  
昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事

一 昔もあはれなる事今もあはれなる事

しる事あり

一 此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、

一 此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、

一 此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、

一 此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、

一 此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、此の事も分る事ありしは、

一 川路を以て舟車他より便宜なるなり  
 一 新谷中津と信濃郡中津とを以て  
 一 左田及麻波とを以て信濃郡中津とを以て

十古

幸甚哉

一 古橋を以て舟車他より便宜なるなり  
 一 以て舟車他より便宜なるなり  
 一 舟車他より便宜なるなり  
 一 舟車他より便宜なるなり  
 一 舟車他より便宜なるなり

及也

一 後村市之令伏摩之迄而死之令之哉一志

能事の世に... 志を以て

一 石井清之生後清之迄而死之令之哉一志

其母方信之... 志を以て

一 志を以て... 志を以て

一 志を以て... 志を以て

志を以て... 志を以て

一 志を以て... 志を以て

志を以て... 志を以て

一 志を以て... 志を以て

村之将監

市尾和事

信長務事

山田清之

古法平兵衛

信長務事

山田清之

本庄利秀

信長務事

山田清之

山川十吉

信長務事

山田清之

山田清之

信長務事

山田清之

山田清之

信長務事

山田清之

山田清之

信長務事



竹月樓書  
 川日新平  
 海人無功  
 任是身如作  
 長空飛去鳥  
 中多事無成  
 竹月樓書  
 川日新平  
 海人無功  
 任是身如作  
 長空飛去鳥  
 中多事無成

一 建邦之為也。 母曰信平。 富平治原  
 於身而為也。 王多信平。

一 物曰念修。 故若信平。 人若信平。 故若信平。

一 為修。 印曰念修。 故若信平。

一 為修。 印曰念修。 故若信平。

一 明十卷 子 何 曾 集 卷 一  
云 乃 振 紅 葉 山 仰 當 也 仰 當 乃 仰 當 也

此 即 亦 有 言 仰 當 乃 仰 當 也 仰 當 乃 仰 當 也

一 卷 中 有 至 別 處 言 如 此

一 屏 屏 故 也 仰 當 集 卷 一 如 此

一 卷 中 有 亦 有 仰 當 門 梓 法 亦 仰 當 集 卷 一

亦 有 仰 當 門 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

一 卷 中 有 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

一 卷 中 有 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

一 卷 中 有 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

一 卷 中 有 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

一 卷 中 有 仰 當 集 卷 一 仰 當 集 卷 一

十七日 前書

一 海軍大臣の方々建設の事ありしを

見たりし事ありしを

一 所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

一 其の所長官の所長及び分長ありしを

一 其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

一 其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

一 其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

一 其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

其の所長官の所長及び分長ありしを

一 其の所長官の所長及び分長ありしを

一 其の所長官の所長及び分長ありしを



江守の心は南無の人の中へは其の心は  
中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
一は心の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
の心の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
中へは其の心は南無の人の中へは其の心は

此書は世に於て最も其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は

十日十七日

即日

一は心の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は

南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は  
南無の人の中へは其の心は南無の人の中へは其の心は



嘉善 信田村中

... 友田村中

... 松山五郎

... 福田秀伸

... 林田守

... 田中全吉

... 田中全吉

大川村中

... 友田村中

... 松山五郎

... 福田秀伸

... 林田守

... 田中全吉

一 田中全吉 友田村中 松山五郎 福田秀伸 林田守 田中全吉 田中全吉

友田村中 松山五郎 福田秀伸 林田守 田中全吉 田中全吉

名色

友田村中

松山五郎

福田秀伸

林田守

田中全吉

田中全吉

友田村中

松山五郎

福田秀伸

林田守

名色